



能登で生きる幸せ



SPECIAL EDITION ★ NOTOism

能登イズム

～世界農業遺産から「能登の暮らし」を考える～



最終回

『ある家族の手紙②』



ぶらり里山
ゆらり里海

『世界農業遺産』という贈り物

『手紙』

紙がありがとう。あのころよく話していた「ボジションがわかればミッシンがわかる」という藤本敏夫氏の言葉を実践し、能登へ移住してしまつた僕に当惑しながらも「いつでも戻ってこい」と言ってくれた君の言葉が懐かしい。

「風の人(ヨソ者)」と「土の人(地元民)」が出会うところに「風土」は生まれるという。能登は世界農業遺産。世界が認めた日本の典型的な農山漁村自給圏だ。そこをボジションに定め、ミッシンが現れてくるのを待った三年半で学んだことは、住んでわかつてくる能登への驚きと、家族まるごと住んでこそ受け入れられるという経験だった。それとどうやら僕には能登の人がうまく言い表せなかつた想いを代弁し、寄り添いながら本質へ導く「風」としての役割があるのかもしれない。そう自覚できただけでもうれしい。

ひとりで見える夢はつまらないということも知った。地域の想いに自分の夢を合わせ、自らやりたいことが人や地域のためにもなるという幸福な一致点を発見すれば、そこで自分の得意や才能を生かせる。それが本当の喜びに違いないという予感がする。その気持ちはもしかしたら、能登に生まれ育った人なら自然に身についた村人感覚なのかもしれない。これが郷土愛というものの起こりだろうか。

さて、僕の夢は「ムラ人」の創出(関原剛氏提言)だ。自然を含めた能登のコミュニティに帰属意識を持つ人を求め「ムラ人」とし、交流や購買によつて能登を支えてもらう。能登は「ムラ人」にコミュニティへの参画を許し、心の充足や食料・食文化で支える。つまり日本中に血のつながらない親戚を作ることと等しい。君が言うように昨年の大災害で日本人の意識が変わつた。それに対する日本の原風景・能登からのひとつの答えⅡ贈り物になると信じ、実践したい。

次の知らせを楽しみにしていき。また会う日まで。』



写真・文 山崎昭宏 Yamazaki Akihiro

【PROFILE】昭和42年埼玉県生まれ。平成21年能登町笹川に移住。スローフードを標榜する友人が「料理民宿さんなみ」を訪れた。その時で主人と親しく談笑する現社長と知り合つて移住希望者(私)を紹介してくれた。私がここにいるのはそれがご縁。ゲンザイ当目ノ事務所ニオリマス。
ブログ：ゆらりぶらり <http://blog.livedoor.jp/yurariburari/>



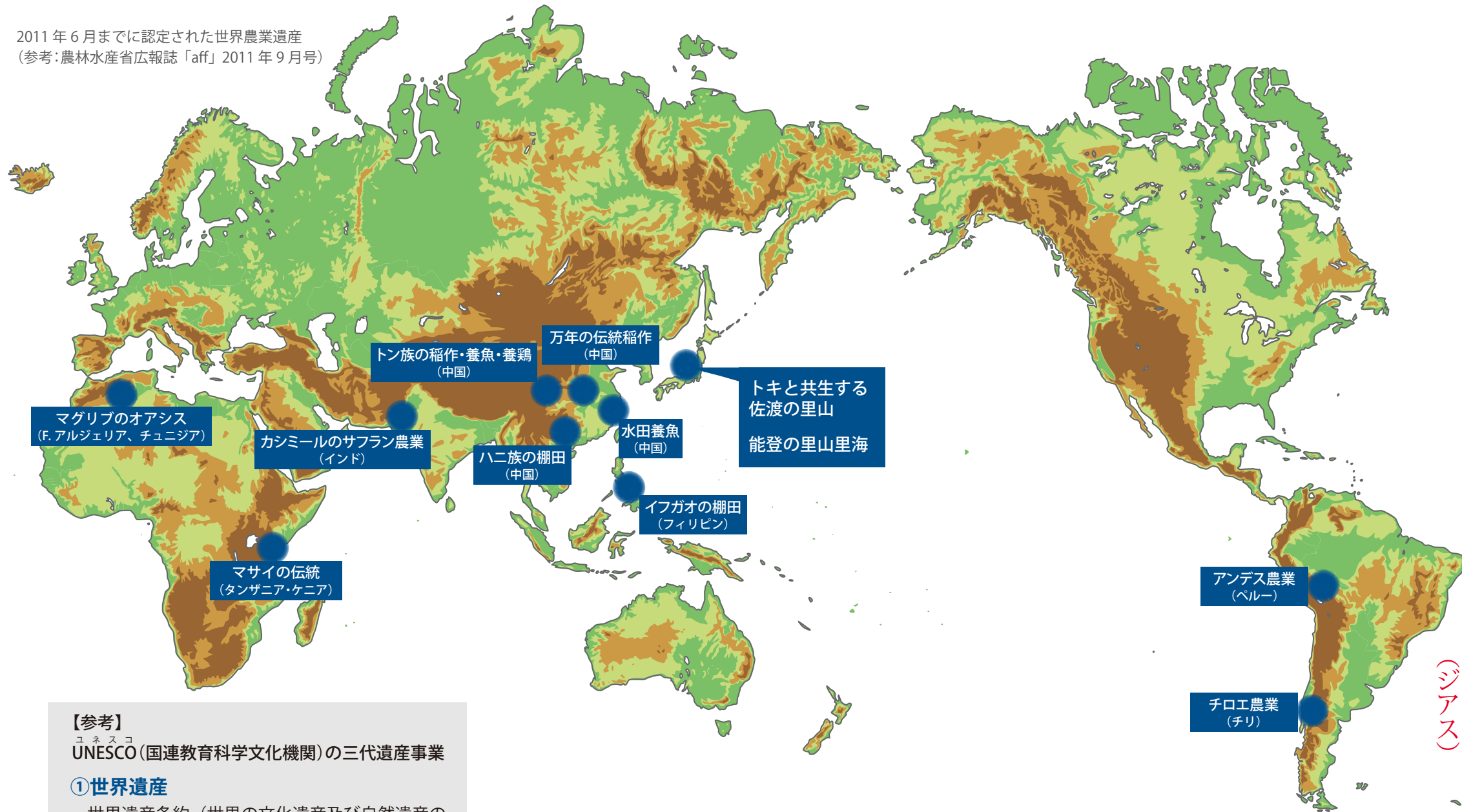
SPECIAL EDITION ★ NOTOism

能登イズム

～世界農業遺産から「能登の暮らし」を考える～

昨年6月、能登地域4市4町に広がる「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定された。里山里海は私たちの暮らしそのもの。能登の暮らしに国際的な価値があると認められたのだ。

なぜ能登なのか？世界遺産と何が違うのか？これからどうなるのか？疑問をひもといて、いつも見る何気ない風景や当たり前の暮らしを見つめ直してみよう。きっと「能登らしい」生き方が見えてくる。



世界農業遺産への道

世界農業遺産（GIAHS）は、国連食糧農業機関（FAO）が2002年から取り組むプロジェクト。世界農業遺産とは何か。そして、認定された能登に何が求められているのだろうか。

Globally・・・世界的に
Important・・・重要な
Agricultural・・・農業の
Heritage・・・遺産、資産
Systems・・・システム

世界農業遺産とは

地域の環境を生かした伝統的農業には、食糧として農作物を生産すること以外に、生物多様性や農村景観、農村文化の保全など、さまざまな役割がある。しかし、生産性を重視する農業の近代化が進むと、その多面的役割が失われてしまう恐れがある。

次世代に継承すべき重要な農業や生物多様性を有する地域を守るために、FAOが一体的なシステムとして認定するのがGIAHS。日本では世界農業遺産と呼ばれる。

先進国初の認定へ

GIAHS発足当初からFAOと連携・協力していた国連大学は09年、地域特有の多様な生きものを育んできた日本の里山に着目。関係者にGIAHS認定を働きかけた。10年8月には佐渡と能登がGIAHS候補地に選定され、羽咋市以北の4市4町は



2011年6月17日、能登空港でオープニングイベントが開催され、地元関係者にGIAHS認定証が披露された

【参考】
ユネスコ
UNESCO(国連教育科学文化機関)の三代遺産事業

①世界遺産

世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）に基づき「世界遺産一覧表」に記載されているもの。3つのカテゴリーがある。

■文化遺産：顕著な普遍的価値を有する記念工作物、建造物、遺跡などが対象。745件。

■自然遺産：顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地など。188件。

■複合遺産：文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの。29件。

②世界無形文化遺産

無形文化遺産の保護に関する条約に基づき「代表一覧表」に登録されたもの。「奥能登のあえのこと」は2009年に登録。

③世界記憶遺産

歴史上重要で、後世に伝える価値がある文献、絵画、音楽、フィルムなど。

生きている遺産

世界農業遺産と似た言葉にユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産がある。世界的に貴重な遺跡や建造物、

半島約19万畝には山・里・海と農・林・水にわたる多彩な農業遺産があり、それらを総合すると間違いなく『世界的に重要』な農業遺産。だからこそ能登全体が一つにまとまることが大切」と語った。

原初的な自然などを登録するもので、日本でも世界文化遺産に12地域、世界自然遺産に4地域が登録されている。

貴重な不動産をそのままの形で残していく世界遺産に対して、世界農業遺産は「生きている遺産」と言える。

地域の人たちが、時代や環境の変化に適応しながら伝統的農法や知識を実践していくこと、地域を活性化して持続可能な形で「進化」していくことが求められている。

里山里海の価値

自然は人が手を加えることで多くの恵みと生きものを育む。
里山里海は人と自然が相互に関係し合い、維持されている場所。
国土の約4割を占めると言われる里山の中で、なぜ能登が世界農業遺産に認定されたのか。
認定の立役者の一人、あん・まくどなるどさんに「能登の里山里海」の価値を聞いた。

ローカルからグローバルへ

「これまで地道に里山里海を維持してきた能登の皆さんに感謝しています」と話すあん・まくどなるどさん。国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長として、北陸農政局のプロジェクトチームと共に農業遺産認定へとつなげた立役者の一人だ。

「里山と里海が密接につながっている能登は、世界から注目されています。農林業と水産業はこれまでFAOでも別々に考えられていました。谷本知事の発表を聞いたFAOの水産業担当者が『これからは農林業と水産業を一緒に考えていきたい』と感銘を受けるほど能登の里山里海はグローバルに広がっています」

ため池が育んだ文化

日本中に存在する里山地域の中で、なぜ能登が世界農業遺産に選ばれたのだろうか。

「ため池を中心にした農業システムが1400年以上続

いてきた能登は、祭り、食文化、伝統文化、景観がとても豊かで日本のトップランナーと言えます。

特に『祭り』の意義や役割を考えると、祭りがため池と密接な関係にあることが分かります。点在するため池の周りに集落が発展した能登では、水争いなどが少ないため他の地域との交流が比較的少なかったと考えられます。祭りが小さな集落ごとに数多く行われることや初対面の人間までもてなす『ヨバレ』の文化は、ため池文化とつながっていると思います。さらに、能登の祭りは『保存』されているのではなく、今も生き生きと地域に存在しています。能登には自然界と人・文化とのつながりが多様な形で生きたまま残っています。能登の文化が生きていることが、『動的農業システム』であるジアスに認定されたのです」

持続可能な未来を

20年ほど前から能登を訪れているあんさん。今後も里山

里海の研究者の一人として能登と関わっていききたいという。

「ジアス認定以前、能登の話題は過疎化や高齢化など『能登の問題』が多かったように感じます。マイナスイ面无視してはいけませんが、前向きな姿勢で課題解決に取り組むことが大切だと思っています。認定がそのきっかけになったのではないのでしょうか。

4市4町の皆さんが『持続可能な未来』を一緒につくっていく中で、今後の課題は、より環境保全型農業や生物多様性を育む農法を推進していくことだと思います。

第1次産業のつながりをもう一度つくっていくことも大切です。昔のような、人間活動の連携の中で資源が管理される仕組みを、みんなで考えて新しくつくることができれば、能登はもう一つの転換期を迎えると思っています」

世界中の農山漁村を知るあんさんから能登へのエール。能登に住む私たちがしっかりと受け止め、前に進んでいきたい。

【あん・まくどなるど】

カナダ生まれ。プリティッシュ・コロンビア大学在学時、熊本大学に1年間留学したのち、農山漁村のフィールド・ワークに従事。国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長を経て、現在上智大学大学院地球環境学研究科教授、慶應義塾大学特任教授、石川県世界農業遺産アドバイザーなども務める。著書に『田園有情』、『気候変動列島ウォッチ』ほか多数

里山里海の地域資源

【稲のはざきし】

刈り取った稲を「はざ」にかけて天日干しする作業。青い稲が黄金色に変わるまで約2週間、自然乾燥させる。時間をかけて乾燥するため割れ米が少なく、さらに茎と葉の養分が穂に伝わるため味も良いとされる。

能登の秋の風物詩と言われるが、機械化の流れの中でその風景を見ることは年々減少している。



あん・まくどなるどさん

文化の継承

さまざまな項目が総合的に評価された能登の里山里海。評価項目を能登町に当てはめると「伝統技術・文化・祭礼、里山景観」が町の特徴として見えてくる。
文化を継承し、地域づくりに生かす取り組みを能登町教育委員会事務局の新出直典さんに聞いた。



能登は伝統文化の密集地

「キリコ祭りやあえのことのような広範囲に広がるものから、その地域にしかない特徴的なもので、能登半島は狭いエリアの中に伝統文化が密集しています」

町教育委員会事務局で文化財を担当する新出直典さんは能登の文化的特徴を語る。

「これだけ祭りや文化が生活の中に溶け込んでいる地域は、全国的に珍しいのではないでしょうか」

新出さんは岐阜県出身で移住者でもある。能登の文化に触れる生活は、驚きの連続だったという。

「能登町は能登半島の中でも特徴的な伝統文化が色濃く残る地域。そしてそれを継承していくとする地域の人たちの意気込みは、世界農業遺産をきっかけにさらに強くなっています。伝統文化を守ろうとする地域を応援しながら、継承しやすいような環境を一緒に整えていきたいと考えています」

能登町の主な地域資源リスト

分類	地域資源
伝統的な農林漁法と土地利用	稲のはざ干し、棚田、谷地田、用水・ため池など
多様な生物資源	ホクリクサンショウウオ、ハツチョウトンボなど
優れた里山景観	茅葺き、白壁・黒瓦の家並み、農村風景など
伝えていくべき伝統的な技術	合鹿椀、久田和紙、炭焼き、能登杜氏など
農耕にまつわる文化・祭礼	あえのこと、キリコ祭り、アマメハギ、イドリ祭り、小木とも旗祭りなど
里山里海の利用保全活動	農家民宿（春蘭の里）、グリーンツーリズム、エコツーリズム（鉢伏山）など

能登町教育委員会作成資料から

景観を守る意識を

世界農業遺産に関連する能登町のもう一つの特徴は『日本の原風景』だと新出さんは強調する。

「能登は『日本の原風景が残る』と言われるが、その中でも、特に柳田地区は昔ながらの土地利用が今も受け継がれている貴重な地域。柳田には、ため池や大規模な用水が数多く残っていて、町は現在その調査を進めています。見慣れた景観の歴史を明らかにすることで、地域を挙げて

景観を守っていく意識が高まるものと期待しています」

『点』を『線』に

本年度から実施する『特色ある公民館活動』事業では、半数以上の公民館が世界農業遺産に関連する事業に取り組むなど、自分たちの地域を見直し、地域を盛り上げようという機運が高まっている。
『点』として存在する地域の文化などを『線』として結ぶことで相乗効果を生み出し、町の活性化につなげたい」と決意を新たにしている。

能登町は、里山里海に育まれた
伝統文化が色濃く残る地域。

里山里海の地域資源

【あえのこと】

奥能登一円の農家に古くから伝わる農耕儀礼。12月5日、田んぼから田の神様を迎え、山の幸、海の幸でもてなして収穫に感謝。2月9日には同じようにもてなした後、田んぼに送って豊作を祈願する。家の主人は、田の神様があたかもそこにいるように振る舞う。
09年にユネスコ無形文化遺産に登録される。

能登町教育委員会事務局
新出直典 学芸員





ジアスの可能性

世界農業遺産の中心は「農業」。農業が営まれることで文化や景観、生物多様性が育まれてきた。認定を受けて、能登の農業が活性化するのか注目されている。世界農業遺産の可能性について、県里山創成室の渡邊泰輔室長に聞いた。

『能登棚田米』の可能性

「能登の活性化は、1次産業の振興なくしては成り立ちません」と話す渡邊さん。石川県が里山を生かした地域づくりを進めるために昨年4月に設置した『里山創成室』の室長として世界農業遺産の関連事業を取り仕切っている。

「能登の農業の中心である『米』は、能登全体で同じ価値観を持ってブランド化できます。その大きな一歩が奥能登4つのJ.Aが連携して取り組む『能登棚田米』。これは世界農業遺産認定を受けて、行政主導ではなくJ.Aが主体的に取り組んでいることにも価値があります。農薬・化学肥料を減らす『環境保全』も取り入れていることで消費者にも分かりやすく、ブランド米として確立するでしょう。今後は棚田米が能登全域に広がったり、能登米の象徴となつて能登米全体の価値を高めたりする可能性があります。まさに『地域のため』になるブランド化です。

地域特有の農作物には、それぞれの特徴を生かした『6次産業化』で付加価値を高める手法があります。県には『いしかわ里山創成ファンド』があり、うまく活用して『地域のため』になる商品開発を進めてほしいと思います。ファンドの目的の一つは『生業』の創出です。能登で生活できる基盤づくりを支えたいと考えています」

価値観の転換を

渡邊さんは『地域のため』を強調する。能登の将来のためには『地域という目線』が欠かせないからだ。

「能登に求められていることは、いかに地域を維持していくかということ。ただ能登が残るだけでは意味がなく、これまで能登の人たちが作りあげてきた価値観を保ったまま維持していくことが重要です。そのためには、まず能登に住む人たちが『能登の価値』に気づき、『自分たちのやってきたことが素晴らしいこと』であるという価値観の

(参考) いしかわ里山創成ファンド

※総額 53 億円、運用期間 5 年間 (H23.5.31 設置)

項目	補助率	内容
生業の創出	3/4 (3 年以内)	地域資源の発掘や新たな商品開発
イベント支援	3/4 (1 年目) 2/3 (2・3 年目)	里山里海地域を元気にするイベント
資源循環モデル	2/3 (2 年以内)	里山エネルギー資源の有効利用
里山景観の創造	ソフト 10/10 ハード 1/3	里山集落全体の景観創出

※ 25 年度公募は 5 ～ 6 月ごろを予定

転換が必要」と訴える。

「来春には能登の取り組みを世界に発信する国際会議が能登で開催されます。能登にはそれだけの『実力』があるということです。」

最初の1年はご祝儀期間であり、お祭りのようなものでした。これからは能登が元気に長く続いていくために、良い地域をつくっていく活動に軸足を移していきます。主役は地域であり、そこに暮らす人です。県と4市4町が一緒に、能登の活性化を盛り上げるために皆さんを応援します」

1 次産業の活性化なくして、能登の活性化は成り立たない。

里山里海の地域資源

【春蘭の里】

能登町宮地・鮭尾地区を中心とした農家民宿群。平成8年に地域住民が立ち上がり「春蘭の里実行委員会」を設立。里山景観の保全と交流人口の拡大で地域再生を目指す。農家民宿は現在30軒を超え、23年度の宿泊数は述べ5千人。黒瓦、白壁の家並みは石川県の里山景観維持重点地区に指定されている。

石川県里山創成室
渡邊泰輔 室長



ヨソ者の目線

能登の里山里海が学びの場に――

近年、小木地区や岩井戸地区などで、地域活性化をテーマに学ぶ大学生を受け入れている。学生たちは能登の暮らしから何を感じたのか。ゼミ合宿で今年9月の3日間、岩井戸地区に滞在した東洋大学生の感想を紹介したい。



東洋大学国際地域学部
井上真里奈さん

能登ゼミで一番感じたことは、人の温かさや優しさでした。能登の一番の資源はモノではなくヒトだということを実感しました。炭焼きの小箱さん、猿鬼伝説の向峠さん、農作業の尻田さん、山せみ荘のおばあちゃんたちから、たくさんのかことを学ぶことができました。民泊させていただいた首田さんからは「能登はもう君のふるさとだから、またいつでもおいで」と言われ本当にうれしかったです。地に足を着けた生き方、地域のつながり、伝統のお祭りやのんびりとした雰囲気は都会には絶対ないものだと思います。ヒトとヒトのつながりの大切さ、心の大切さを能登で学びました。私も自分の心と正直に向き合い、挑戦していきたいと思います。大好きな能登に必ずまた来ます。



東洋大学国際地域学部
板井靖良さん

岩井戸地区で3日間過ごしました。一見すると風光明媚な田舎というだけの印象だったかもしれませんが。しかし、一日一日とさまざまな体験をし、地元の方々のお話を聞くことで、岩井戸地区がどれだけ美しく、凛々としている場所なのか見えてきました。最後には見る風景全てに意味を感じ、お世話になった方の顔が浮かんできました。

自然の美しさと人の美しさの相関関係がはつきりと分かりました。能登の自然の中で、地元の方の姿を通して、私たちは自然への敬意、慈しみ、そして愛を感じました。

能登には本物の自然と人の温かさが確かに存在し、絶妙な相関関係で「能登」であることを保っているのだと実感しています。本当に有意義で素晴らしい経験でした。

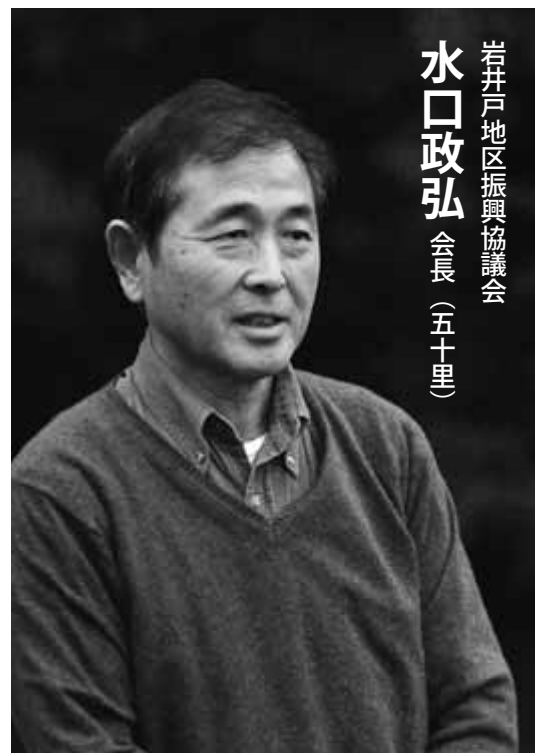


東洋大学国際地域学部
石井美樹さん

初めての能登。行くまでは「どこにでもある田舎」くらいにしか考えていませんでしたが、東京に帰ってくると考えが180度変わっていることに自分でも驚いています。

地元の皆さんの話を聞いて、今まで忘れていた家族の温かさや食えること、生きることのありがたみを感じることができました。一度離れても、また戻ってきたいと思えるふるさとがある能登の人をうらやましくも思いました。

能登の良さを地域の人たちに伝えること、若い力を必要とするこの場所に多くの若者を連れ込む手助けをすることが私たちの役目であり、この合宿をきっかけに能登についてもっと知りたいと思うようになりました。私の気持ちに変化を与えた能登と能登の皆さんに感謝しています。



岩井戸地区振興協議会
水口政弘 会長（五十里）

能登は生まれ育った場所ですが、若いときはずっと「逃げたい」と思っていました。それでも能登で生きていくことを選択し、今は育ててもらった地域に恩返ししたいと思っています。大学生はいろいろな角度から地域を見てくれて、私たちが今まで当たり前だと思っていた「地域の良さ」を教えてください。世界農業遺産の認定や大学生の受け入れは、地域を見直すきっかけになりました。何も無いながらも、集落はこれまで脈々と続いてきました。何もせずに見ているだけではなく、何かできることはないか地域の皆さんと模索していければと考えています。

里山里海の地域資源

【棚田・谷地田】

棚田は山地などの傾斜地に階段状に作られた田んぼ。谷地田は台地に挟まれた細長い谷にある田んぼ。棚田は農作業の機械化が難しく、耕作放棄地になりやすいが、水源に近く昼夜の寒暖差が大きいいため、米の食味が増す条件に恵まれる。

さらに生き物を育み、水を蓄え、地滑りを防ぐなど多面的役割も担う。

地域で「あえのこと」を受け継ぐ 国重田の神様保存会

農家が家々で執
行する神事
「あえのこと」。近年
は農業の近代化や後
継者不足などが原因
で、神事を行う農家
は激減している。



国重地区は、地域
であえのことを復活させようと平成 20 年に保存会を
結成。吉村安弘会長宅に保存会員が集まり、協力しな
がらあえのことを執行している。きっかけはユネスコ
無形文化遺産の登録。それぞれの記憶や資料をひもと
きながらも、時代に合わせた形になるよう相談しなが
ら準備を進めた。地域であえのことを保存伝承する活
動は、神野地区など他の地域にも広がっている。

限界集落に『若者』という血流を 神子原地区（羽咋市）



▲棚田を利用した巨大ひな壇は大学
生のアイデアで 6 年前に始まった。
二日間で 1500 人以上が訪れる。

富山県との県境
に位置する羽
咋市神子原地区。な
かでも菅池町は、さ
らに山手にある農村
集落。羽咋市は、限
界集落といわれたこ
の集落を活性化させ
るため▷烏帽子親農
家制度▷空き農家・

農地情報バンク制度▷神子原米のブランド化計画▷首
都圏大学生による援農合宿—などを実施。高齢化率
が高く、離村率も激しい農村集落に『若者』という血流
を与えることで、限界集落を見事に脱却した。

神子原地区次の一手は“自然栽培農法（Japonic）”。
『奇跡のリンゴ』で知られる木村秋則さん（青
森県・木村興産社代表）が提唱する農薬、除
草剤、肥料を一切使わない農法の普及に取り
組んでいる。

ローマ法王にも献上され、ブランド米とし
て確立した『神子原米』の販路はアメリカや
フランスへと広がっている。世界農業遺産の
追い風を受けて、限界集落の挑戦は世界に向
けてさらに加速している。

オーナー制で棚田を存続させる 白米千枚田（輪島市）

千枚を超える大
小の田んぼが
美しい幾何学模様を
描く千枚田。かつて
18 軒を数えた農家
は 3 軒を残すのみ
となり、年々休耕田
が増え続けていた。



「千枚田を守りたい」。平成 3 年に 50 人で始まった
耕作ボランティアは、400 人を超えるまでになった。
平成 19 年からは「マイ田んぼ」として全国からオー
ナーを募集。会費と年数回の現地作業が必要だが、多
くの人が観光を兼ねて輪島を訪れている。千枚田を守
り未来に残すためには、農家とボランティア、そして
観光客のいずれも欠かすことができない。

キリコ祭りに大学生を受け入れる 柳田大祭



過疎高齢化によ
りキリコの担
ぎ手が不足している
「柳田大祭」。柳田地
区は平成 21 年から
金沢星稜大学の応援
を得て、祭りの継承
に取り組んでいる。

今年の祭りからは女子学生も参加。親戚や友人を招
待して供応する「よばれ」を手伝った。民泊も取り入
れた結果、学生と地域住民との交流がさらに深まって
いる。学生たちは祭りの準備や運営に参加することで
住民とふれ合い、地域への理解を深めようと考えてい
る。学生たちの思いを取り入れながら、祭り存続の道
が模索されている。

【のとキシマツジ】
能登半島は古木の群生
地として日本一の規模を
誇る。特徴は民家の軒先
や裏庭にあること。数百
年にわたって人が手をか
け続けた結果であり、ま
さに能登の暮らしと共に
ある花木。NPO 法人の
とキシマツジの郷
は、500 本を超える古
木を調査し「深紅の戸籍
簿」を制作中。開花は 5
月上旬から中旬ごろ。

未来への糸口

世界農業遺産に認定されても、過疎化や高齢化
は止まらない。地域の宝物を守るために何をす
れば良いのか。農業遺産の認定前から活動する
地域の事例から、解決の糸口を探る。



佐渡の伝統文化



【鬼太鼓（おんどこ）】

鬼太鼓は佐渡各地のお祭りに登場。豊作や大漁、家内安全を祈願し、厄を払うために家々を回る。鬼の舞い方や太鼓の叩き方は、地域によりさまざま。



【車田植（くるまだうえ）】

佐渡市北鷗島（きたうしま）の北村家に残る習俗。3人の早乙女が田の中央に苗を植えた後、車状に外側へ後ずさりながら丸く苗を植えていく。田の神に豊作を祈る農耕儀礼。



【薪能（たきぎのう）】

佐渡には30以上の能舞台が残り、初夏には各地の能舞台で薪能が奉納される。佐渡の能はその地域に暮らす人々が舞い、謡い、観ることが最大の特徴。



【道遊の割戸（どうゆうのわりと）】

地表に出ている金銀鉱脈を掘り取った結果、山が真二つに割れてしまった日本最大の露頭掘り（露天掘り）の跡で、相川金銀山を象徴する奇観。

「能登の里山里海」と共に世界農業遺産に認定された「トキと共生する佐渡の里山」。トキが棲める豊かな生態系と美しい里山を未来に継承する佐渡の取り組みを佐渡市農林水産課長、渡辺竜五さんに聞いた。

トキと暮らす郷づくり

平成20年、野生復帰を目指して10羽のトキが佐渡の空に放たれた。トキとの共生を掲げる佐渡市は、トキのエサ場の確保と佐渡米のブランド化を目指して『生きものを育む農法※1』の普及に取り組み、『朱鷺と暮らす郷』認証米制度※2を創設した。

「佐渡米は平成16年の台風被害により、産地として信頼を失い、平成19年まで販売不振が続きました。結果として生産調整の強化と米も売れなくなるという厳しい状態が重なり、耕作放棄地が増えていました」と当時の佐渡米の状況を振り返る渡辺さん。トキの餌場についても整備が進んでいないと感じていた。

「トキは里山の鳥で、平野部の生きものの少ないほ場整

備した田んぼも重要なエサ場です。この田んぼに生き物を増やすことができれば、佐渡の生態系の頂点にいるトキも増えます。逆にトキが死ねば佐渡のイメージが悪くなりま

す。トキを生かすのは、農家の腕にかかっていたのです。

当初、農家からは『俺には関係ない』という意見が多く、なかなか理解してもらえませんでした。トキのエサ場をつくることで米が高く売れる。トキのためではなく、農家のためだと説明しました。初年度の参加は少ないと考えていましたが、数軒の農家がやってみようという声を上げて地域でPRを始めた結果、初年度から256戸427畝でスタートしました。

一つの狭いエリアではなく、佐渡全体の生き物を少しずつ増やそうと考えていまし

佐渡リポート

トキと共生する佐渡の里山

が減ってくるのです。新潟県と一緒に技術的な検証をしています。有機にすればするほど土づくりや施肥のタイミングなど技術が必要になります。稲の状態をしっかりと見るなど農業の原点に戻ることが大切なのだと感じています」

農業を継がせたい職業に

世界農業遺産認定を受けて佐渡の取り組みに変化があったのだろうか。

「認証米は主に平野部のほ場整備された田んぼで作られています。農業遺産の認定は、これまで平野部を見ていた私たちの目を『棚田』に向けさせてくれました。平野部と中

山間地はつながっています。認定を機に『棚田協議会』を設立し、棚田を守ることが集落を守ること、佐渡の農業を守ることにつながると農家に訴えています。

佐渡の農業を守るためには、農業が子どもに継がせたい職業である必要があります。そのためにも、農業遺産を活用したブランド化をさらに進め、農家の収入を増やしたいと考えています」

佐渡と能登

「佐渡の農業はすごいと言われますが、私は能登に驚いています。食、地形、地名、文化など資源がとても豊かで

4市4町ごとにそれぞれ特徴があります。都会とのつながりも佐渡の目標とすべきものです。

私が能登の皆さんに意識してほしいと思うことは『能登は能登としから見られていない』ということです。4市4町が連携して『能登』の魅力を高めてほしいと思います。

能登と佐渡が共に頑張つて、農業・文化が日本にとって大切なものであることを発信していきたいでしょう」

北前船が往来した海運の時代、人的にも物的にも交流が盛んだった佐渡と能登が、時代を経て再び交わった。同じ「世界農業遺産」として―。



佐渡市農林水産課
渡辺竜五 課長



自治体の役割

「能登の里山里海」を次世代に受け継ぐという長期的な目的を考えると、自治体の果たす役割は大きい。世界農業遺産を地域活性化にどうつなげるのか。伝統文化や景観をどうやって守っていくのか。持木一茂町長の考えを聞いた。

―世界農業遺産への認定をどのように感じているか。

能登の原風景、昔ながらの農法、祭りなどの文化が総合的に評価され、世界に認められた。認定はうれしいことであるが、しっかりと守っていくという大変な部分もある。

―自治体の役割は。

認定を機に交流人口の拡大につなげていきたい。能登町には千枚田のような象徴的風景はないが、春蘭の里やあえのこと、アマメハギ、そしてあばれ祭などの多彩な祭りがある。能登町に来てもらって体験してもらうために、この町に何があり、何をやっているのかというPRをしっかりとやっていきたい。

今年は首都圏でモニターを募集してツアーを実施した。モニターからは、都会の人が求めるものと地元のギャップを埋めるためのさまざまな意見をいただいた。こうした外の意見も積極的に聞いて、参考にしていきたい。



久田和紙の紙すき

は住民活動の支援。伝統文化の保存継承や農林水産業の課題など、地元の声をしっかりと聞いて活動を応援していきたいと考えている。

―地域や住民の意識は。

認定されたからといって特別変わったことをする必要はない。これまでやってきたことを続けていくことが大切だ。ただ、意識の中では「世界農業遺産を守る」ということを常に考えてほしい。

認定をきっかけに地域を見つめ直したり、活動が広がっている団体も出てきている。例えば久田和紙は、原料となるコウゾを植栽して増やす事業に乗り出した。これまでであれば高齢化で山に自生するコウゾの採集をあきらめ、活動は収縮していたかもしれない。

い。地域の宝である久田和紙を守りたいという意識から新しいアイデアが生まれた。

一人一人の意識が変われば、能登はもっとすばらしい場所になる。自分に何ができるか、地域で何ができるかということは、これまでとは違う「世界農業遺産」という視点で考えれば見えてくるのではないか。

―能登の未来は。

このまま何もやらなければ能登が廃れてしまうという危機意識は、私も含めて多くの人が持っている。「世界農業遺産」は私たち能登の人間の意識を「否定から肯定」「マイナスからプラス」に変える大きなきっかけだ。

明るく元気に、能登を誇りに思いながら暮らせるまちづくりのために、住民も地域も行政も一歩前に進みたい。

能登の未来を担うのは子どもたちだ。わたしたち大人が、子どもたちに前向きに生きる背中を見せることが、能登の未来につながっていく。

一人一人の意識が変われば
能登はもっとすばらしい
場所になる。



能登町長

持木一茂

里山里海の地域資源

【あばれ祭・キリコ祭り】

7月から10月にかけて、能登半島各地で開催される「キリコ祭り」。高さ数メートルから十数メートルのキリコ（切り灯籠）を担ぎ、豊作や豊漁、疫病退散などを祈願する。

宇出津のキリコ祭りは「あばれ祭」と呼ばれ、40数本のキリコが大松明の周りを乱舞し、2基の神輿が川や火の中に投げ込まれて大暴れする。

能登の暮らし

世界農業遺産「能登の里山里海」で暮らす私たち。

能登の未来のために、私たちがができることは何なのか。

能登に移住して44年。能登を愛し、能登を知るスペシャ

リスト・藤平朝雄さんからのメッセージ。

移 住者である私は、「なぜ能登が良いのか」とよく問われます。「44年間能登で生活してきたこと」がその答えです。私は能登が良いと思っ

として次世代に伝えていく「何か」が確かにあるということ

ことです。

しかし、認定から1年半が経過し、PR看板やポスター、パンフレットばかりが増えま

した。現状は、認定による交流人口拡大という「速効性」

ばかりに目が行っているような気がします。経済が疲弊し

ている能登において「速効性」も大切ですが、世界農業遺産は「生きている遺産」であり、

漢方薬のように後から効いてくる「遅効性」の取り組みも忘れてはいけません。

世界農業遺産という看板を掲げるだけで人は来ません。能登を自慢するだけでは活性

化しません。先進国初の認定に賞味期限はないのです。あ

せらずに、地域の良さに磨きをかけることが大切です。

例えば、誰も訪れなくても景観をより良くしようと努力する地域があります。その地域は、誰もポイ捨てをしないし、ゴミが落ちていれば見て見ぬふりはしません。地域の景観は住民の心を映し出す「鏡」。その地域は、住民の濁りのない美しい心が景観に表れています。

自 分にできること、地域でできること、行政ができることがあります。能登に住む私たちは、「誰かがやって

くれる」ではなく「自分でできること」を考えましよう。みんながそれぞれできることをやれば、きっと大きな力になります。

このまま何もしなければ、能登は廃れるだけです。集落に限界があるように地域にも限界があります。みんな地域を良くしていこうと努力を重ねて活性化するのが先か、能登が疲弊してしまうのが先か。現状で良いという考えは誤りです。

私 たち年寄りには大きな役割が二つあります。一つは、これから頑張ろうとする若者を支えるということ。否定ではなく、見守るでもなく「支える」です。能登の未来を担い、日本や世界に目を向ける若者の背中を年寄りが押してあげてください。

もう一つが、子どもたちにこの土地の良さを伝えていくことです。能登の暮らしを体で覚えた子どもたちは、都会に出てでも能登を語ることができます。認定をきっかけに、能登の人がもっと能登を知

り、子どもたちに自分たちの暮らしや自然に逆らわず生きてきた知恵を伝えてほしいと思います。

農 林水産業も、景観も、伝統文化も、伝えていくのは「人」です。祈りと感

謝を忘れずに、こころ豊かに、明るく、上機嫌で明日への一歩を踏み出しましょう。

世界農業遺産に認められるような、能登に生きる「幸せ」を感じながら暮らししていきたい。

能登に住んでいる『幸せ』を感じながら暮らしたい。

能登に住んでいる『幸せ』を感じながら暮らしたい。

藤平朝雄さん
(石川県観光スペシャルガイド)

【ふじひら・あさお】

東京都出身。能登に魅せられ昭和44年に輪島市へ移住。キリコ会館初代館長などを歴任し、現在は石川県観光スペシャルガイド。自らの経験を基に能登の魅力を県内外に発信している。輪島市町野町在住、73歳。



わたしたちも
能登の里山海。

※過去に広報で撮影した写真
のほか山崎昭宏さん提供

平成 24 年 秋の叙勲

平成 24 年秋の叙勲は 11 月 3 日に発表されました。能登町からは地方自治、教育、消防の各分野で、その進展に尽くしてきた 3 人が栄えある受章となりました。受章した皆さんの功績を紹介します。

【旭日双光章】

竹中初男さん（71）＝鴨川

竹中さんは、昭和 58 年 4 月に柳田村議会議員に初当選し、長年にわたり地方自治に携わってきました。

合併によって能登町が誕生したあとは、能登町議会議員として新町の基礎づくりに励み、平成 18 年 10 月までの通算 7 期 23 年 6 カ月間にわたって地方自治の発展に尽力しました。

平成 9 年 5 月から平成 11 年 4 月までの間、柳田村議会議長、副議長を歴任したほか、平成 3 年 5 月からの 4 年間は、能都町柳田村環境衛生組合議会議長を務めるなど、要職を歴任しました。

【瑞宝双光章】

松本 博さん（74）＝小木

「人は誰でも、認められ信じられると気力がわいてくる」。38 年間の教員生活で、子どもの良い面を褒めて育ててきたという松本さん。小学校長や能登少年自然の家所長を務めたほか、能登町の初代教育長として教育環境の整備、充実にあたりました。

今後は「若い人を信じ、見守り、必要があれば協力・助言したい」と話し、学校と地域社会が一体となり、子どもが切磋琢磨して成長できるような教育環境を整え「心身共にたくましい子どもを育ててほしい」と若い世代の活躍に期待を寄せました。

【瑞宝単光章】

^{ひら}平 紀明さん（72）＝中斉

平さんは、消防団員として 40 年、地域の安全を守り続けてきました。活動は消火や救助にとどまらず、女性防火クラブの組織づくり支援や、予防・啓発活動にも尽力しました。平成 6 年には柳田村消防団副団長として団員の指揮にあたり、重要な役割を担いました。

民生委員・児童委員としても約 30 年間活動が続けた経験から「一人暮らしのお宅が増えてきたので、特に注意していただきたい」と福祉の視点でも地域の安全を気遣います。消防団に従事する人が減ったことに対しては「私なりに努力したい」と述べ、活動の支援に意欲を見せました。

能登町 顕彰表彰

11 月 3 日、能登町が行う表彰の中で最高位に位置づけられる「能登町顕彰条例に基づく表彰」が役場能都庁舎でありました。公共・産業、文化、行政の各分野で活躍し、長年にわたり町の発展に力を注いだ 3 人が表彰を受けました。

【公共・産業】

^{はまがみ}濱上洋一さん（79）＝松波

濱上さんは、昭和 30 年に小型定置網漁業を経営し、以来長年にわたって漁業振興に尽力しました。沿岸漁業、特に省エネルギー漁業ともいえる定置網漁業に着目。省人化による経営合理化を図り、漁具改良や効率的漁法の開発、高鮮度保持などの研究と実践を積み重ね、地域の漁業振興に大きく貢献しました。

昭和 40 年 6 月には、内浦町漁業協同組合の監事に就任。当時の 3 組合の合併、内浦漁業協同組合の設立に関わり、昭和 50 年 6 月から平成 18 年までの 31 年あまり、組合長理事として組織の発展に尽くしました。

【文化】

^{むかいとうげちりゅう}向峠智隆さん（77）＝当目

向峠さんは、昭和 62 年に当目公民館長に就任。「猿鬼伝説」を素材とした地域おこしに取り組みました。同年、公民館が主体となって「猿鬼歩こう走ろう健康大会」をスタートさせ、平成 14 年からは大会長に就任。大会を参加者千人を超える規模に育て上げました。今年は 26 回目の大会が盛大に開催されました。

平成 8 年には「全国鬼サミット」を開催、成功に導いた向峠さん。平成 18 年からは、町観光ボランティアガイド協会副会長も務め、猿鬼伝説の語り部として地域に伝わる伝説の継承に努めています。

【自治】

山本 研さん（76）＝太田原

山本さんは、昭和 55 年に能都町議会議員に当選。以来平成 18 年までの 8 期 26 年 6 カ月の間、地方自治の発展に貢献しました。

昭和 63 年 3 月から平成 2 年 3 月までは能都町議会副議長、平成 12 年 3 月から平成 14 年 6 月までの 2 年 3 カ月間は、議長として町政の推進に努めました。

平成 15 年 1 月からは、能都町・柳田村・内浦町合併協議会委員として新町発足に尽力し、厚い信頼と抜群の調整力をもって能登町誕生に大きな功績を残しました。

干し柿作り体験 秋の風物詩を自分たちで作る

小木小学校の4年生14人が10月26日、真脇遺跡縄文館で干し柿作りを体験しました。職員から作り方の説明を受けた児童らは、早速渋柿4個を手に取り、ピーラーを使って皮をむきました。中には渋柿をかじってみる児童もあり、あまりの渋さに顔をゆがめていました。むき終わった柿を麻ひもでむすび、縄文館の軒下につるした児童ら。約1カ月後の干し柿完成を心待ちにしているようでした。



はしごに登り、慎重に渋柿をつるす児童

第4回能登国際交流サロン 日露戦争の新たな事実に触れる

今年度4回目の国際交流サロンは10月16日、役場能都庁舎で開かれ、日露戦争の際に流れ着いたロシア兵の遺体に関する資料が公開されました。

資料は明治41年に石川県が内務省に宛てたもので、国立公文書館が保管する文書の写し。遺体の発見日時や埋葬場所、所持品などが記載されており、慰霊碑がある町内の3地点に加えて、矢波の海岸にも遺体が漂着していたことが明らかになりました。



関係地域の町内会長や公民館関係者などが集まった

大鏡餅を披露する小垣の「おやっさま」



鶴川のイドリ祭り 餅をいどって今年を笑い飛ばす

県指定無形民俗文化財「鶴川のイドリ祭り」が11月7日、鶴川菅原神社で行われました。「イドリ」は悪口を言うなどの意味で、11月1日から8日まで行われる新嘗祭の一つです。今年の当番が作った直径約1.2mの大鏡餅が中央に運ばれると、その餅を持ち帰る来年の当番が持ち上げて披露。「形が悪い」「色が黒くておらのかーか（奥さん）みたい」などユーモアたっぷりにいどり合い、来年の当番に引き継がれました。

入講式で決意を述べる新出浩二さん



里山里海マイスター1期生入講式 能登の新時代を担う人材を育成

能登の次世代の担い手を育てる能登「里山里海マイスター」育成プログラムの第1期生入講式が10月20日、珠洲市の金沢大学能登学舎で行われました。

育成プログラムは金沢大学と奥能登4市町などの連携による事業で、1期生は41人。桜井勝金沢大学副学長が式辞を述べ、受講生を代表して新出浩二さん（越坂）が「新時代の能登の魅力を世界に発信できるよう努力していく」と決意を示しました。

第8回能登町民文化祭 日ごろ磨いた芸を披露



華麗な舞踊を披露する陽恵津会松波教室の皆さん

第8回能登町民文化祭が11月3日と4日の両日、内浦運動公園内の各施設を会場に開催されました。内浦体育館で展示された芸術部門は、約450人が出品。多くの方が鑑賞に訪れていました。25の個人や団体が日ごろの練習の成果を披露した芸能部門は内浦第二体育館で発表されました。今年は特別出演として民謡の南部亮子さん（松波出身）と真澄さん親子が出演。ソーラン節など7曲を披露し、会場を盛り上げてくれました。



見事な作品が並んだ芸術部門

里山里海交流・小木中つなぐプロジェクト 世界に一枚だけの卒業証書を

柳田中学校との交流プロジェクトを進める小木中学校3年生16人が小間生公民館を訪れ、卒業証書に使う「久田和紙」づくりの作業を開始しました。

作業初日の11月9日は、公民館近くの山に自生するコウゾを刈り取り、皮を剥ぐための蒸し器に入るように長さを切りそろえました。これから冬にかけて、みわ会の協力を得ながら、柳田中学校3年生と共同で作業を進め、手すき和紙の卒業証書作りに挑みます。



みわ会会員の指導を受け、コウゾを刈り取る生徒

国定教科書を朗読する鶴川小児童



久田船長受難110年記念碑前祭 勇気ある行動に思いを巡らせる

104人の乗員乗客を救うために自ら犠牲となった久田佐助船長の遺徳をしのぶ碑前祭が、事故が発生した10月29日、鶴川の菅原神社境内の久田船長碑前で行われました。

久田船長顕彰会が主催の碑前祭は、今回で110回を数えました。鶴川小、中学校の児童生徒や地域の人など100人を超える人が集い、船長の偉業が描かれた唱歌や教科書朗読をし、郷土の偉人の行動を称えました。

ニュース 全国和牛能力共進会

なかひめ138号(中瀬晴夫)が県代表に

5年に一度開催される和牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」の第10回長崎県大会が10月25日から5日間の日程で開催されました。

10月23日には、石川県代表として若雌2区に出場した中瀬晴夫さん所有「なかひめ138号」の出発式が行われました。能登和牛改良組合長を務め、2大会連続の出品となった中瀬さん。前回よりも順位を上げ2区の2等賞2席という結果でした。



能登牛の代表として全国の舞台に立った「なかひめ138号」

お願い 除雪作業にご協力を

除雪作業に関する要望はまず区長へ

町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができないことがあります。



除雪が順調に進むよう、次のことに注意してください。

- ①自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。
- ②除雪機の前後に飛び出したり、進行の妨げにならないようにしましょう。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は各自で行ってください。
- ④狭い路地などは町内のみんなで除雪しましょう。
- ⑤道路(特に通学路・歩道)に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は町内みんなで行いましょう。
- ⑦除雪に際して、やむなく民地へ雪を押し出す場合もありますがご容認ください。
- ⑧除雪に関する問題については、まず区長・町会長までご相談ください。

☎建設課 ☎ 76-8304

ニュース 能登町社会福祉大会

支え合う社会の実現を目指して

第4回能登町社会福祉大会は10月26日、能都庁舎で開催され、福祉関係者約150人が地域福祉の進展に向けて気持ちを新たにしました。

式典で能登町社会福祉協議会長表彰を受賞した皆さんは次のとおりです。(敬称略)

〈社会福祉事業従事者〉・本崎恵美子・餅木絹代・田端博美・桶田昌伸・谷内裕子・真脇美恵子・畑口留美子・高広展・狭間映志・山下正美・新谷裕子・山崎裕美・向井佐和子

〈社会福祉事業関係団体役職員〉

・坂下静子・棚木哲三

〈身体障害者自立更生〉・灰谷誠司

〈ボランティア活動者・団体〉・河村喜久子・田町すずらん会・新町ふれあい会・まんてん食堂不動寺会



障害者自立更生で表彰を受けた灰谷誠司さん(小木)

募集 能登町エンデバーファンド21

25年度の申請受け付けが始まります

「公益信託能登町エンデバーファンド21」は、まちづくり活動に取り組むグループなどに対し、その企画内容に応じて助成を行います。申請はそれほど難しくありませんので、気軽に提出してください。

〈助成事業の内容〉

- ①まちづくり活動の調査研究
- ②地域の環境保全・改善などのまちづくり活動の企画や活動の実施
- ③まちづくり活動に取り組むグループ相互間の交流や情報交換など
- ④地域振興・観光振興などのための施設整備

〈受付期間〉12月10日(月)～1月31日(木)

〈申請方法〉「助成事業申請書(第1次審査用)」に必要事項を記入し、興能信用金庫本店営業部に提出してください。申請用紙は同金庫にあります。

☎役場企画財政課 ☎ 62-8503

興能信用金庫本店営業部 ☎ 62-1122

(株)しんきん信託銀行 ☎ 03-3564-8465

【能登町役場】☎62-1000(代)

能都庁舎 (R62-4506)

総務課 ☎ 62-8510

企画財政課 ☎ 62-8503

監理課 ☎ 62-8504

税務課 ☎ 62-8505

環境対策課 ☎ 62-8507

町民課 ☎ 62-8500

能都サービス室 ☎ 62-8500

ふるさと振興課 ☎ 62-8532

会計課 ☎ 62-8509

柳田庁舎 (R676-0039)

広報情報推進課 ☎ 76-8301

農林水産課 ☎ 76-8302

柳田サービス室 ☎ 76-8300

農業委員会 ☎ 76-8303

建設課 ☎ 76-8304

内浦庁舎 (R672-2108)

健康福祉課

(児童保育) ☎ 72-2512

(医療介護) ☎ 72-2502

(福祉庶務) ☎ 72-2503

(健康推進) ☎ 72-2504

(包括支援) ☎ 72-2513

内浦サービス室 ☎ 72-2500

上下水道課 ☎ 72-2507

教育委員会事務局 ☎ 72-2509

議会庁舎 議会事務局 ☎ 76-8310

ニュース 能登町ふるさと大使

抒情書家・室谷文音さんを大使に再任

抒情書家・室谷文音さんの「能登町ふるさと大使」任命式は10月24日、役場能都庁舎で行われました。

室谷さんは英国留学などを経て平成18年、同じく書家の両親と京都府から能登町へ移住。アトリエを構える自宅と欧州を拠点に創作活動を続けています。任命式で室谷さんは、「能登町は日本でのふるさと。海外の友人にも町の良さを伝えていきたい」と持木町長に語りました。



ふるさと大使の委嘱状を受け取る室谷さん

ニュース 能登町防災講演会

「釜石の奇跡」から津波防災を学ぶ

宮城県釜石市で8年間、防災教育に取り組んできた群馬大学大学院の片田敏孝教授の防災講演会が11月11日、内浦第2体育館で開催されました。

石川県PTA連合会地区別研究指定発表会の記念講演を能登町が共催として実現。会場にはPTA関係者や消防関係者など約400人が集まりました。片田教授は「子どもたちへの防災教育には家庭や地域が果たす役割はとても大きい」と訴えました。



釜石市で実践してきた防災教育について語る片田教授

ニュース 流山市訪問団

井崎流山市長が訪問団を熱烈歓迎



10月27日から28日にかけて、千葉県流山市と能登町の姉妹都市締結を記念した「第1回流山市民まつり見学ツアー」が実施されました。

ツアーには町民23人が参加。市民まつり会場では井崎義治流山市長(写真中央)の熱烈な歓迎を受け、そのあと参加者たちは全国各地の特産品が並ぶ販売店を見学しながら交流を深めました。

ニュース 宝くじ助成金

宝くじ助成金で本木区が除雪機整備

㈱自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、本木区が除雪機、除雪機保管庫などを整備しました。



この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品の配備などに対して助成を行い、地域のコミュニティー活動の充実・強化を図ることを目的として行われています。



能登町の可能性を広げる、大学との連携・協力が進んでいます。

小木の活性化に若い知恵

小木地区の活性化をテーマに活動している金沢星稜大学・吉川顕磨ゼミの学生20人は11月10日、役場小木支所で町民に研究成果を発表しました。

学生たちは2班に分かれ、能登海洋深層水施設と地域ブランド品開発の課題を報告。海洋深層水の利活用への提言では、食品加工だけでなく、入浴や化粧品への利用例も挙げて「成分を分析し、医療分野にも生かしてほしい」と意見を述べました。



海洋深層水の利用方法を提言する吉川ゼミの学生たち

東海大学「代々木建学祭」で能登町を紹介

11月2、3日に開催された東海大学代々木キャンパスの「建学祭」で、能登町食材を利用したカフェが登場し、学生らが景勝地の写真を見ながらブルーベリーワッフルなどを賞味する姿が見られました。

これは、観光学部の服部泰ゼミ生が企画した「能登カフェ」。8月に町で合宿をした時に撮影した景勝地や施設、体験の様子を紹介し、能登海洋深層水で入れた美味しい紅茶なども販売されました。



服部ゼミの会場では「能登はやさしや水までも」を販売

【入札結果】 10月16日～11月15日

広報紙では、契約金額500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎監理課 ☎62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
梅ノ木団地2号棟 建設工事(建築)	松波	建設課	37,170,000円	(株)西中建設
梅ノ木団地2号棟 建設工事(機械設備)			9,429,000円	宝成工建(株)
能都中学校移転改築工事に伴う旧校舎解体工事(1工区)	藤波	教育委員会事務局	27,982,500円	須美矢建設(株)
解体工事(2工区)			18,459,000円	鈴平建設(株)
解体工事(3工区)			27,877,500円	(株)鼎建設
解体工事(4工区)			22,911,000円	(有)能登住建
町道2級松波1号線外1 舗装工事	松波	建設課	6,772,500円	島屋建設(株)
町道上滝の坊1号線 道路改良工事	上	建設課	5,260,500円	宝成工建(株)
町道2級宮犬秋吉1号線(寺尾橋) 橋梁補修工事	清真	建設課	11,812,500円	(株)西中建設
本木送水ポンプ場 築造工事	本木	上下水道課	12,898,200円	須美矢建設(株)
鵜川中学校 屋外教育環境整備(グラウンド)工事(その1)	鵜川	教育委員会事務局	13,597,500円	(株)葛土木
屋外教育環境整備(グラウンド)工事(その2)			15,645,000円	須美矢建設(株)
町道斉和1号線 道路改良工事(法面工)その2	中斉	建設課	7,980,000円	(有)モアグリーン
町道上4号線(新五朗河原橋)外2橋 補修設計業務	上	建設課	7,140,000円	(株)国土開発センター
鮭尾地区 飲雑用水施設整備 地下水源調査業務	鮭尾	農林水産課	5,092,500円	興信工業(株)
国重地区 地下水源調査業務	国重	上下水道課	5,145,000円	(株)ホクコク地水

お知らせ いしかわ302スポーツ運動

冬場でも、30分の運動を週2回！

冬場は外出するのも面倒になり運動不足になりがちです。運動不足は筋力低下はもちろん、血液循環も悪くなり冷えの原因になるとも言われています。

雪の降るこれからの季節でも、体育館やウインタースポーツで気持ちの良い汗を流してください。

「いしかわ302スポーツ運動」の記録用紙は各体育館、各公民館にも置いてあります。最低30分の運動を週に2回。継続して行う習慣を身につけましょう。11月15日現在までのいしかわ302スポーツ運動達成者を報告します(敬称略)。

〈100日銅バッジ〉・中谷弘吉・綱屋美和子・高木米子・浅見敏夫・橋本茂・中町美喜子・磯松多喜子・小蔵澄子・持平はま子・大黒則夫・浅見裕子 他13人
〈200日銀バッジ〉・中谷弘吉・大黒則夫 他5人
※公表の許可をいただいた人のみ掲載

消防 住宅用火災警報器

つけましたか？住宅用火災警報器

火災から大切な家族を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。平成20年6月1日から既存住宅にも設置が義務づけられています。



天ぷら油を加熱したままその場を離れたため、鍋から火が上がり警報器が熱を感知。警報音に気づいた居住者が初期消火と119番通報を行った。



2階寝室で寝ていた男性は、1階からの警報音に気づいた。1階へ降りると祖母の部屋の仏壇から炎が上がっているのを発見。水道水をかけて消火した。

悪質な訪問販売にご注意ください！ 消防署や自治体が「住宅用火災警報器」の訪問販売、特定の業者へのあっせんや販売を依頼することはありません。

納期 税金 / 保険料

今月の納期限は12月25日(火)です。

〈税金〉固定資産(都市計画)税 第3期
国民健康保険税 第6期

〈保険料〉介護保険料 第6期
後期高齢者医療保険料 第9期

満天星 イベント情報

のぞくプラネタリウムを作ろう！

のぞいて見る少し変わったプラネタリウムを作りましょう。(予約不要)

〈日時〉12月23日(日) 14:00～14:40

〈料金〉材料費1個100円

☎星の観察館「満天星」 ☎76-0101



税金 税務課からのお知らせ

所得の申告は忘れずに！

年が明けると平成24年分の確定申告の時期がもうすぐです。所得の申告をしないと国民健康保険税などの軽減措置が適用されないことがありますのでご注意ください。

町・県民税の申告は、国民健康保険税のほかに介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料の決定、公営住宅入居資格審査などの資料になります。申告をしていないと「所得の有無や課税、非課税」が把握できず、それぞれの軽減措置や各種給付など行政サービスを適切に受けられない場合があります。

このため、収入がない人や非課税収入(障害年金、遺族年金など)のみの人も町・県民税の申告が必要となります。

ただし、給与所得のみで給与支払報告書が事業所から役場に提出される人、公的年金以外に所得がない場合で、公的年金支払報告書が役場に提出される人などは、申告の必要はありません。

☎税務課 ☎62-8505

消防 小木小学校1日消防士体験

小学生が消防士の仕事を体験

10月29日、小木小学校で1日消防士体験が行われました。

ポンプ車での放水訓練のほか、煙体験ハウスで模擬火災の体験、119番通報の訓練などを行いました。



防火服を身にまとい、小木分団員と放水を体験する児童

遊々能登

EnjoyNoto

奥能登イベント情報

能登町から2市1町の広報紙に「あえのこと実演（合鹿庵）」を紹介しました。



○穴水まいもんまつり“冬の陣”かきまつり
〈期間〉1月10日(木)～3月31日(日)
「焼きがき」や「カキフライ」など、かきづくしのフルコースが加盟店でご堪能いただけます。先立って行われる試食会のモニター募集は、12月初旬より開始。
☎観光交流推進室 ☎ 0768-52-3790



○ゆく辰（とし）くる巳（とし）
〈日時〉12月31日(土) 22:30～
〈場所〉總持寺祖院
「静と動の響き」と題して、除夜の鐘が鳴り響くなか新年への祈りを込めて御陣乗太鼓の実演や開運餅まきなどが行われます。



○珠洲吹奏楽祭 2012
〈日時〉12月9日(日) 14:00～
今年最後の演奏会で、心を込めた「音楽」を贈ります。入場料は500円。
☎ラポルトすず ☎ 82-8200
http://www.laporte-suzu.jp/

今日のオススメ！

■ひとり歩けば 辻まこと

辻まことが愛した山での暮らし。自然との交流を描いた作品群からかつての山の若き友が厳選した20篇

■僕らのごはんは明日で待ってる 瀬尾まいこ

体育祭の競技“米袋ジャンプ”をきっかけに付き合うことになった葉山と上村。必ず笑顔になれる、著者の魅力がぎゅっと詰まった優しい恋の物語。

図書館へおいでよ

中央図書館（宇出津公民館内）
☎ 62-3458

児童館だより

- こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★：対象未就園児の親子
- ◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日、28日～1月4日
- 2日(日) 10:00 ごいた大会（小学生以上）&もちつき（どなたでも）
 - 7日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
 - 9日(日) 8:00 キッズおしごと体験（金沢・小学生以上）
 - 15日(土) 13:00 クリスマス会（来館者全員）
 - 21日(金) 10:30 ★身体計測
 - 13:30 あそびのチャンピオン大会（小学生以上）
 - 23日(日) 10:00 門松作り（宇出津公民館で、小学生以上親子）
- まつなみキッズセンター ☎ 72-0269
- ◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日、29日～1月3日
- 5日(木) 15:00 読み聞かせボランティアひまわり
 - 12日(木) 15:00 クリスマス☆ミニお茶会
 - 14日(金) 15:30 ペン上手（硬筆学習）
 - 15日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり
 - 「ひまわりさんとクリスマスリース作り」
 - ※親子でご参加ください。（要予約）
 - 19日(木) 15:00 あっぷるたいむ「ふれあいレクリエーション♪」
 - 28日(金) 15:30 ペン上手（硬筆学習）

New sports 『ソフトバレーボール』

ソフトバレーボールは、バレーボールから派生した球技で、お隣の福井県小浜市で考え出されました。ネット越しにゴム製の柔らかいボールを打ち合い、決められた点（1セット15点）を早く得点することを競います。3セットマッチ制で、2セットを先取したチームが勝ちとなります。

原則1チーム監督1人、競技者4人、交代競技者4人以内で構成します。監督は競技者を兼ねることも可能です。

1月には町民ソフトバレーボール大会を開催する予定です。地区の皆さんとチームを組み、ぜひご参加ください!!

☎教育委員会事務局 ☎ 72-2509



※出前講座でもニュースポーツの紹介があります。スポーツ推進委員が楽しく丁寧に指導します。

がんばりました（結果）

※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告で掲載しています。

第4回能登ジュニアバドミントン大会チャレンジャーカップ（10/21）
〈ファイターの部（5・6年男子）〉
②山本幸太 敢闘賞・正木涼太
〈同（5・6年女子）〉①中谷心萌
〈フューチャーの部〉敢闘賞・本井未来、水島義晴

第44回能登二市一郡バドミントン大会（10/28）
〈団体男子〉③能登町
〈ダブルス男子〉①上畠茂利・牧邦彰
〈同女子〉①岩住さくら・笹野祥代
〈シングルス男子〉③濱高直希
〈同女子〉①中谷心萌

第27回山田杯争奪ソフトテニス選手権大会（10/28）
①屋舗雄太・仙福和弥（能登高）③川端光明・下畠雅大（北陸電力・能登高）③多原省吾・馬場准樹（日本航空専）



屋敷（右）・仙福ペア

第3回ハマナスカップ（10/27・28）
〈ダブルス4年以下男子〉
③大町諒・辻口凜
〈同女子〉②濱田すみれ・濱中彩花
〈シングルス5年女子〉①牧和音
〈同4年以下男子〉②大町諒③辻口凜

平成24年度能登町ナイターソフトボールリーグ（8/29～10/22）
①Qピーズ②五輪会③喜組
〈MVP〉川辺優太

■松波小学校
・第7回いしかわっ子駅伝交流大会（11/3）
〈団体女子〉⑥29'24"（橋本唯吹・尾上春妃・竹中梨乃・高倉美来・山口瑠七・濱野美空・新谷彩絵）
〈個人〉3区①竹中梨乃 5'46" 4区④濱野美空 5'50"

■能都中学校
・全能登新人バスケットボール能登町大会（10/6・7）
〈男子〉② 〈女子〉③
・能登町剣道大会（10/14）
〈男子個人〉③藤田隆靖
・全能登中学校体育大会
新人バドミントン大会（10/13・14）
〈男子団体〉③
〈男子個人〉③安孫・川崎
〈女子団体〉②

新人柔道大会（10/14）
〈男子個人60kg級〉①尾形結熙
新人バスケットボール大会（10/20・21）
〈男子〉③ 〈女子〉③
奥能登剣道大会（11/4）
〈中学生女子〉③橋口紗矢子③東崎渉

■小木中学校
・鳳珠郡中学校新人相撲大会（9/22）
〈団体〉①小木A
〈個人1年〉①高野幸輔
〈個人2年〉①鍵主淳樹②松井雄飛
・県中学校新人相撲選手権大会（10/7）
〈団体〉③
〈個人軽量級〉①鍵主淳樹
・石川県相撲選手権大会（10/21）
〈中学校の部団体〉③
・全能登新人陸上競技大会（10/11）
〈男子100m〉⑥坂口大輔
〈同200m〉④坂口大輔
〈同砲丸投げ〉⑦彦田雄大
〈同棒高跳び〉①須磨淳②太田圭悟
・県歌人俳句短歌大会（特選）廣瀬瑞起（佳作）角将太、奥野結衣
・北國あすなる善行賞（受賞）小木中

〈お詫びと訂正〉
広報11月号の県小学生学年別ソフトテニス大会の結果に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
【正】〈5年女子〉②牧和音・中田優衣

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ20】ゆず釜味噌
ゆずの酸味と香りを生かした冬の保存食。そのまま食べても
ふるふき大根にのせてもおいしい。

〈材料〉
ゆず 1個
砂糖 小さじ1
みそ 小さじ2

○作り方
①ふたにする部分を切りとる。
②ゆずの中身を取りだして種を除き、細かく切る。
③ゆず釜（中身を取りだした柚子）の中に②と砂糖、みそを入れ、金網の上にのせ、ガスを弱火にして煮る。

能登町食生活改善推進員





年末年始小児科救急当番医

年末年始の長い休み中に、小さなお子さんが安心して過ごせるよう小児科救急当番医を下記のとおり実施することとなりました。救急診療時間は午前9時から12時までとなります。（受診する場合、事前連絡が必要です）

当番医 / 日	12/29 (土)	12/30 (日)	12/31 (月)	1/1 (火)	1/2 (水)	1/3 (木)
市立輪島病院☎ 0768-22-2222			救急		救急	
珠州市総合病院☎ 82-1181			救急		救急	
公立宇出津総合病院☎ 62-1311		救急		救急		救急
まるおかクリニック☎ 0768-52-8228	半日	救急				救急

※都合により担当が変更になる場合がありますので、上記医療機関に確認の上、受診してください。

※まるおかクリニックの「半日」とあるのは通常診療です。

能登北部医師会

休日当番医（12月～年始）

【受付 9:00 ～ 12:00】
都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

12月2日(日)	9日(日)	16日(日)	23日(日)	24日(月)
田中クリニック ☎ 82-0500 珠洲市野々江町	生垣医院 ☎ 76-0001 能登町柳田	小西医院 ☎ 82-6800 珠洲市正院町	千間内科クリニック ☎ 62-1001 能登町宇出津	大貫眼科 ☎ 82-0017 珠洲市上戸町
尾張内科クリニック ☎ 0768-52-1515 穴水町此木	定梶医院 ☎ 0768-45-1351 輪島市門前町	桶本眼科 ☎ 0768-22-4056 輪島市釜屋谷町	伊藤医院（英） ☎ 0768-22-2313 輪島市水守町	大和医院 ☎ 0768-82-0017 輪島市門前町

30日(日)	31日(月)	1月1日(火)	2日(水)	3日(木)
井端内科医院 ☎ 84-2535 珠洲市宝立町	はしもとクリニック ☎ 62-8300 能登町崎山	小西医院 ☎ 82-6800 珠洲市正院町	千間内科クリニック ☎ 62-1001 能登町宇出津	田中クリニック ☎ 82-0500 珠洲市野々江町
まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228 穴水町川島	永井医院 ☎ 0768-22-0032 輪島市鳳至町	北川内科クリニック ☎ 0768-52-3555 穴水町大町	永井医院 ☎ 0768-22-0032 輪島市鳳至町	まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228 穴水町川島

◆乳児健診・BCG接種

〈日時〉12月6日(木) 〈受付〉12:45 ～ 13:00

〈対象〉平成24年7月5日～9月6日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票、BCG 予診票

◆1歳6カ月児健診

〈日時〉12月13日(木) 〈受付〉13:00 ～ 13:15

〈対象〉平成23年4月26日～6月13日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票

◆3歳児健診

〈日時〉1月31日(木) 〈受付〉13:00 ～ 13:15

〈対象〉平成21年9月1日～11月15日生

〈場所〉能都庁舎 4階大集会場

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票、採尿容器

◆離乳食教室～ステップ編～

2回食から3回食（8カ月～11カ月ごろ）までの教室です。参加費は無料です。身体計測もできますので、ぜひ参加してください。参加を希望する人は、申し込みが必要です。下記まで連絡してください。

〈日時〉12月4日(火)

〈受付〉① 10:00 ～ 10:20

〈場所〉こどもみらいセンター

〈持ち物〉母子手帳、大人用エプロン、子ども用エプロンとスプーン、おむつなど

〈担当〉保健師・栄養士

〈連絡先〉健康福祉課☎ 72-2504

■不活化ポリオワクチン追加接種（4回目）について（ご案内）

不活化ポリオワクチンの追加接種（4回目）の有効性と安全性が確認され、平成24年10月23日から適用されることになりました。

該当と思われるお子さん（不活化ポリオワクチン接種を開始されているお子さん）には案内を送りましたが、届いていない人で対象となる人は健康福祉課（☎ 72-2504）までご連絡ください。

■献血のお知らせ



〈日時〉12月21日(金)

9:00 ～ 12:00

13:00 ～ 15:00

〈場所〉能都庁舎

公立宇出津総合病院 だより

☎ 62-1311

<http://www.hospitalnet.jp/>

診療情報は、病院ホームページで確認できます。

疾患の理解や予防法について⑦

～変形性膝関節症～

【整形外科 富所 潤】

整形外科の数ある疾患の中で変形性膝関節症（膝OA）は最も多い病気の一つです。

この病気は膝の動きを良くする関節部分の軟骨が加齢と共にすり減り、骨どうしが擦れ合うために痛みが出現するものです。中には正座が出来なくなったと受診される方もいます。最近では、テレビをつければグルコサミンやコンドロイチンなどの健康食品がもてはやされていますが、膝の軟骨を再生する効果はありません。大切なのは正しい診断と治療です。いたずらに民間療法で病状を悪化させるのではなく、正しい診断のもとに加療されることをお勧めします。歩行時の膝痛が気になる方は、一度整形外科を受診してください。

■インフルエンザの予防接種について

○高校生未満 ※予約が必要です

〈場所〉小児科外来（2階）

〈受付時間〉月、水、木、金曜日、第1・3火曜日
10:00 ～ 11:30、14:00 ～ 16:00

○高校生以上 ※予約は必要ありません

〈場所〉検診科（1階内科外来の隣）

〈受付時間〉平日（月～金）9:00 ～ 12:00

※予診票に記入の上、来院してください。

■糖尿病・内分泌外来診察日の案内

糖尿病のコントロール・治療が必要と判断された人、高脂血症などの人を対象に専門医が精密検査や治療を行います。内科外来までお越しください。

診察：太田医師 12月の診察日：10日(月)、17日(月)

■年末年始の診療のお知らせ

年末年始の休診期間は、12月29日(土)～翌年1月3日(木)までです。救急の場合は、いつでも受け付けします。

■新しく採用された看護師を紹介します

上谷律子（5階病棟）

10月1日から5階病棟に配属となりました上谷律子（かみにに・りつこ）です。

能登町へ来てから子育て中の4年間ブランクがありますが、早く皆様に信頼されるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



くらしの掲示板

平成 24 年工業統計調査を実施

○従業員 4 人以上の全ての製造事業所を対象に 24 年 12 月 31 日時点で実施します。

○我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

○調査結果は中小企業施策や地域振興など国や地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。

○調査票にご記入いただいた内容は統計作成の目的以外に使用することは絶対にありません。

○調査の趣旨・必要性をご理解いただきご回答をお願いします。

☎ 役場企画財政課 ☎ 62-8503

能登半島地震復興基金事業募集

〈募集事業〉震災復興地域づくり総合支援事業（能登の交流人口拡大や地域ブランド育成など）

〈事業開始〉平成 25 年 4 月

〈対象者〉能登の活性化に取り組む県内の民間団体

〈応募締切〉12 月 28 日(金)

※応募される人は、事前に下記まで

ご連絡ください。

☎ 財能登半島地震復興基金（石川県地域振興課内） ☎ 076-225-1317

のとクリスマスを公開しませんか

奥能登ウェルカムプロジェクトでは、のとクリスマスツツジのあるお庭を公開する「のとクリスマスツツジオープンガーデン 2013」の参加者を募集します。ご協力いただける人は、詳しい資料と応募用紙を送付しますので下記までご連絡ください。

〈公開期間（予定）〉

平成 25 年 4 月下旬～5 月中旬

〈参加要件〉

- ・奥能登 2 市 2 町地内にあること
- ・庭木があること（鉢植え不可）
- ・共通の看板を設置すること
- ・来訪者を歓迎すること ほか

〈募集締切〉12月28日(金)

☎ 県奥能登総合事務所企画振興課

☎ 0768-26-2303

大雪時には「雪みちネットワーク」

「雪みちネットワーク」とは、大雪時でも幹線道路や救急告示病院・消防署へのアクセス道路を守るために、国、県、市町が協力して優先的

に除雪する路線のことです。

大雪時には、スムーズな交通確保にご協力をお願いします。

☎ 県道路整備課 ☎ 076-225-1727

陸上自衛隊高等工科学校生徒

〈応募資格〉15 歳以上 17 歳未満の男子（平成 25 年 4 月 1 日現在）

〈第 1 次試験日〉1 月 19 日(土)

〈願書締切〉1 月 7 日(月)

☎ 自衛隊石川地方協力本部能登地域事務所 ☎ 0768-52-4175

県有地を一般競争入札で売却

①字小木口字15番4（地積）162.30㎡（最低売却価格）1,240,000 円

②字小木口字15番5（地積）162.02㎡（最低売却価格）1,240,000 円

①字小木口字15番9（地積）161.35㎡（最低売却価格）1,230,000 円

※申込方法など詳しくは下記へ。

【12 月 10 日(月)申込締切】

☎ 県管財課資産活用室

☎ 076-225-1266

H25年度石川県学生寮寮生募集

石川県学生寮（東京都文京区）は、県内在住の優秀な資質を持ち、東京

で勉学する学生のために創設されました。平成 25 年度は 16 人を募集します。東京地区の大学へ進学する皆さんの応募をお待ちしています。※詳細や募集内容については下記事務局までご連絡ください。

☎ 県学生寮事務室 ☎ 03-3812-3719

北朝鮮による人権侵害を考える

12 月 10 日から 16 日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

北朝鮮当局による拉致問題などの人権侵害問題についての関心と認識を深めていきましょう。

☎ 役場町民課 ☎ 62-8500

珠洲警察署 ☎ 82-0110

医師・歯科医師・薬剤師の現況届

医師、歯科医師、薬剤師は 2 年ごとに現況の届け出が必要です。

〈対象〉医師、歯科医師、薬剤師 ※現在業務に従事していない人（無職など）も対象となります。

〈届出期限〉1 月 15 日(火)

〈問い合わせ・届出先〉能登北部保健福祉センター ☎ 0768-22-2011 または県健康推進課 ☎ 076-225-1436

放送大学 4 月生を募集します

放送大学はテレビやラジオ、インターネットを通して学ぶ通信制の大学です。平成 25 年第 1 学期(4 月入学)の出願期間は 2 月 28 日まで。資料を無料で差し上げています。

〈出張入学説明会〉12 月 14 日(金)

18:30 ～ アパホテル大聖寺駅前

〈入学説明会〉1 月 19 日(土)、20 日(日)、2 月 9 日(土)、10 日(日)、16 日(土)、24

日(日) 10:30 ～ 石川学習センター〈個別相談会〉随時開催（要予約）

☎ 放送大学石川学習センター

☎ 076-246-4029

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎

12月7日(金)、19日(水) 10:00 ～ 12:00

■笹ゆり荘

12月11日(火)、25日(火) 10:00 ～ 12:00

■内浦福祉センター

12月10日(月) 13:30～15:30

■小木活性化センター

12月20日(木) 13:30～15:30

☎ 社会福祉協議会 ☎ 72-2322

行政相談委員にご相談ください

暮らしの中のさまざまな困りごとを、行政相談委員が無料で相談に応じます。お気軽にご相談ください。

〈相談時間〉10:00 ～ 12:00

会場	日程	相談委員
笹ゆり荘	12月18日(火)	廣橋相談委員 ☎ 76-0088
能都庁舎	12月19日(水)	吉岡相談委員 ☎ 62-1000

☎ 役場総務課 ☎ 62-8510

能登法律相談センターの相談日

〈12 月〉6 日、13 日(木)

〈時間〉13:45 ～ 16:15

〈場所〉穴水町保健センター

※前日 17:00 までに要電話予約

〈相談料〉30 分以内：5,000 円

※法律援助資力基準に該当すれば 1 回のみ無料。クレサラ相談初回無料。

☎ 金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242



☎ 珠洲警察署 ☎ 82-0110
能登庁舎 ☎ 62-1334

有料広告

来春ホームセンタームサシ FC 能登店 OPEN 予定

業務拡大につき社員募集!!

【選考の流れ】
1.応募される方は、ハローワークから「紹介状」の交付を受けて下さい。
2.上記紹介状と共に、履歴書・職務経歴書を下記までご郵送下さい。
3.当社から、筆記試験と第1次面接の予定日をご本人へ連絡致します。
※面接等は、9月中旬以降の予定

【書類送付・連絡先】
〒927-1214
珠洲市飯田町7部83番地
株式会社山口興商店 総務部
☎ (0768) 82-2111

有料広告

職員募集

(長寿園・第二長寿園・第三長寿園)

〈職 種〉看護師または准看護師（1名）

〈応募書類〉履歴書、ハローワーク紹介状、免許証の写し

一応募先・お問い合わせ一
社会福祉法人長寿会 ☎ 927-1221 珠洲市宝立町春日野 4-117
☎ 0768-84-2252 FAX 0768-84-2052

平成 25 年 4 月
特別養護老人ホーム
第三長寿園
新築オープン
(特養個室 20・ショートステイ個室 20)
珠洲市宝立町鶴飼（旧珠洲実業高校グラウンド横）

うぶいこえ

・・・・すこやかにすくすくと

出生児

両親の名前

住所

中野なつめ

大司・紋子

宇出津

山下沙弥花

隆・智子

小 木

上野太輔

実・康子

崎 山

高木咲花

功次郎ルリ子

宇出津

上野晃麒

仁寛・真由美

宇出津

宮下ちひろ

雄司・千寿子

姫

寺谷大和

広・恵子

鶴 川

松島仁梨

徳造・静香

上 町

吉野朱音

大介・千尋

矢 波

田中秀磨

祐太・美香

姫

小坂彩吹

直人・希

福岡県

小坂風沙

直人・希

福岡県

こ

の

10/15

せ

ま

～

き

ど

11/14

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

高砂や

・・・・いつまでもお幸せに

氏名

本籍

住所

表野哲也

当 目

当 目

熊崎瑠美

岐阜県

当 目

冬爪貴浩

金沢市

当 目

玉地由佳

宇出津

金沢市

山根純一

上 町

上 町

新 英梨子

珠洲市

上 町

坂下智哉

真 脇

真 脇

船本さやか

珠洲市

真 脇

仙福陽一

鶴 川

鶴 川

畠中歩美

武 連

鶴 川

中谷圭輔

河ヶ谷

河ヶ谷

道上由喜

珠洲市

河ヶ谷

橋詰大輝

小松市

小松市

中谷内祐美

真 脇

小松市

おくやみ

・・・・冥福をお祈りします

氏名

年齢

住所

中村辰雄

83 歳

宇出津

平田良男

74 歳

姫

垣内キリ

80 歳

藤ノ瀬

敷下藤一

85 歳

小 木

松田正一

86 歳

布 浦

石坂敏夫

80 歳

上 町

和嶋龍雄

90 歳

小 木

小野昭蔵

83 歳

越 坂

●人口・世帯数		平成 24年11月1日現在	
		(前月比)	
人口(人)	20,317	－ 21	
男	9,603	－ 17	
女	10,714	－ 4	
世帯数(戸)	8,123	＋ 24	

編集後記

能登で暮らす人、能登がふるさとの人、能登を応援してくれる人。おじいちゃんもおばあちゃんも、私もあなたも子どもたちも、みんなが「能登の里山里海」。

今まで暗くて見えにくかった「可能性」という扉を、「世界農業遺産」という希望の光が照らしている。その扉を開くのは、私たち一人一人の前向きな意識と行動だ。何事もやってみなければ結果は出ない。失敗を恐れず前に進みたい。

政

小坂礼次

高道秀雄

桶田信子

太田政雄

山下精市

森 良雄

福谷ゆき子

冬至たき

品川修一

安宅由巳

谷内佐和子

棚田トラ

角 與四郎

山下花子

立岩 繁

瀧崎昭平

松井イサヲ

下田よし子

河内よし子

坂口和子

飯田吉次

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳

80 歳

89 歳

宇出津

宇出津

宇出津

松 波

小 木

黒 川

宇出津

宇出津

松 波

小 木

宇出津

宇出津

鶴 川

鶴 川

鶴 川

宇出津

宇出津

白 丸

崎 山

74 歳

77 歳

89 歳

63 歳

83 歳

85 歳

61 歳

87 歳

75 歳